東京大学 2021 年解答速報

※これは TA による受験生が高校世界史の知識で書くための答案です。

第１問

５世紀の西欧では、西ローマ帝国が滅亡し、ゲルマン人国家が分立した。ゲルマン人の多くはキリスト教の異端やアリウス派を信仰していたが、フランク王国のクローヴィスはアタナシウス派に改宗してローマ系住民の支持を得た。６世紀にはローマ教皇グレゴリウス１世がゲルマン人への布教を進め、その信仰を拡大させた。一方、東ローマ帝国はユスティニアヌスの下で旧ローマ帝国領の奪回を進めたが、やがて守勢に転じた。７・８世紀にはイスラーム勢力が地中海世界に進出し、イベリア半島から西欧に侵入するとともに東ローマ帝国を圧迫した。これを受けて東ローマ帝国で聖像禁止令が発されると、聖像画の信仰をめぐって東西教会が決定的に対立した。これ以降、西欧ではローマ教会がイスラーム勢力を撃退したフランク王国に接近し、カールの戴冠によってフランク王国・カトリック・ラテン語を中核とする西欧文化圏が成立した。東欧では、東ローマ帝国がその領土をバルカン半島とアナトリアに縮小してギリシア的性格を強め、スラヴ人への布教を経て、ギリシア正教とギリシア語を中核とする東欧文化圏を築いた。イスラーム世界では、アラブ人を優遇していたウマイヤ朝を滅ぼしたアッバース朝が、マワーリーへのジズヤを廃止するなどムスリム間の平等を実現し、イスラーム教・アラビア語を中核とするイスラーム文明圏を成立させた。このようにして、地中海世界では３つの文明圏が並び立った。(597字)

第２問

⑴

⒜貨幣経済の浸透により、領主直営地を農民保有地に変え、賦役を地代に切り換える動きが起こり農民の束縛が緩和された。自然災害やペスト、戦乱により人口が激減し、農民の待遇改善が進んだ。(90 字)

⒝貴族領主層に妥協して発令されたため、土地の分与は有償であり、ミールに渡されることが多かった。そのため農民は土地を購入して債務を負ったり、ミールの一員として規制を受けたりしたから。(90 字)

⑵

⒜ホセ＝リサール

⒝スペインからの独立を求める革命が起きたが、本国に鎮圧された。米西戦争後にアメリカが支配するようになると、アギナルドがフィリピン共和国を樹立し、フィリピン＝アメリカ戦争に発展した。これにアメリカが勝利し、再びアメリカの植民地となった。（117 字）

⑶

⒜アパルトヘイト

⒝白人による非白人への人種隔離政策であり、選挙権の剥奪や居住の制限、異なる人種間の結婚の禁止が規定された。人種差別への国際社会からの批判や、マンデラらの活動もあり 1994 年に廃止された。(90 字)

第３問

⑴安史の乱
⑵両シチリア王国
⑶ガズナ朝
⑷メスティーソ（メスチソ）
⑸鄭成功
⑹ナポレオン（ナポレオン＝ボナパルト、ナポレオン１世）
⑺マオリ
⑻ジャガイモ飢饉
⑼大韓民国臨時政府
⑽ベルリンの壁